

## 第4回在り方検討委員会の結果（議事録）

日時：平成28年11月9日（水）18:30～

場所：いな穂

1. はじめに、今月中に実施することになっているアンケートの内容の確認を行った。

前回出されたアンケート質問内容案に関しては、そのあとアンケート集計（報告書作成）担当4人で整理し直して、質問項目を3⇒10にした案により実施することとなった。

### 【アンケート内容】

- ◇質問1～6・・・尚恵学園の将来像を探るうえで、大事なことはここで働く職員（スタッフ）の満足度でありその関連質問。
- ◇質問7～10・・・前回の案の項目を含む、将来に向けての尚恵学園の課題・提案等に関する質問。

2. 次に、課題を踏まえた尚恵学園に期待されるもの（今後の方向性）を検討するため、はじめに前回までに出された課題を資料（報告書担当で整理したもの）で確認した。

3. 以上の課題を踏まえて、尚恵学園の将来の在り方、方向を検討する。  
はじめに、司会は、出された課題の解決策を個々に技術的に検討することは在り方検討委員会の目的、やるべき方法ではない。制度的社会的課題に対しては、行政や学者研究者をはじめ、たとえば関東知的協会や心身協会的部会などの団体などさまざまな場で詳しく有効な分析・対応を行う場が常時設けられているので、そういったところでの専門的な検討に任せることとして、この在り方検討委員会では、出された課題すべてへの対応策を十分意識したうえで、学園として行うべき事業、行動を探る。ひとつひとつの課題に対応した個々の対策を見出すのではなく、あるひとつの事業を行うことによっていくつかの課題が改善に向かうきっかけになる、そういった事業方向を「在り方」として見つけていくことにしたい、といった話した。

具体的には、尚恵学園の機能と魅力をアップするための

- (1) 支援機能の向上を図るための今後の方向性
- (2) 室の高い支援のための施設整備
- (3) 地域との交流、地域への貢献

の3項目にまとめて今後の方向を検討してはどうか、としたが、本日の在り方検討委員会の検討の内容はまだまだ「課題」の範囲を出ないものであったため、次回第5回も引き続き「今後の方向性」について検討することとなった。